

平成19年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率

○健全化判断比率

平成19年度決算に基づく健全化判断比率の算定結果は、次の表のとおりとなりました。いずれの指標についても、早期健全化基準や財政再生基準を下回っています。

指 標	H19決算比率	早期健全化基準	財政再生基準	備 考
実質赤字比率	—	(12.68%)	(20.00%)	赤字がないときは「—」で表示
連結実質赤字比率	—	(17.68%)	(40.00%)	
実質公債費比率	8.7%	(25.0%)	(35.00%)	
将来負担比率	79.9%	(350.0%)		

○資金不足比率

平成19年度決算に基づく各公営企業ごとの資金不足比率の算定結果は、次の表のとおりとなりました。本市において、資金不足（赤字）を生じた公営企業は、ありませんでした。

公営企業会計	H19決算比率	経営健全化基準	備 考
水道事業会計	—	(20.00%)	資金不足がないときは「—」で表示
下水道事業特別会計	—		
長野土地区画整理特別会計	—		
簡易水道事業特別会計	—		